

機械・精密システム工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本材料強度学会 平成26年度学術講演会
演題名	高温多軸疲労に対するき裂長さ測定法に関する検討
発表者	○ <u>磯貝 毅</u> 、山本哲也※、鈴木智弘※、黒澤太希※
内容	2014年11月に東京大学山上会館で行われた上記学会において、磯貝准教授(当時)が上記演題を発表した。発表内容は、電氣的き裂長さ測定法であるPD法を多軸応力下での疲労き裂進展に適用すること目的として、電位分布に関するFEM解析を行った結果、並びにその結果より得られた多軸応力下でのPD法の較正式を紹介した。さらに、SUS304鋼を用いた高温多軸疲労き裂成長試験を行い、本条件で見られる2種類のき裂進展形態に対する較正式の適応性について報告した。本学会には磯貝准教授(当時)が参加した。